

# 令和2年度 英語学習実施状況について

金沢市立不動寺小学校

## ①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和3年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	0.0	11.0	63.0	26.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	42.0	53.0	5.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	21.0	53.0	21.0	5.0	0.0
問4	英語の授業の内容がわかる。	32.0	58.0	11.0	0.0	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	5.0	63.0	26.0	5.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	11.0	63.0	16.0	11.0	0.0
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。	79.0	21.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。	79.0	16.0	5.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	74.0	21.0	0.0	5.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	37.0	32.0	26.0	5.0	0.0

## ②来年度に向けての指導改善の具体策(令和3年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・感染症予防のため、ペアやグループでの会話の機会が限られ、さらに距離やマスクなどがあり互いに聞き取りにくさを感じていた。来年度は、場の設定を工夫しながら会話の機会を増やしていく。
- ・英語学力調査で、アルファベットを聞いて理解する力や英文の読み取りに課題が見られた。英文を書く時に単語や名前などのスペルを聞いて書く活動や、教科書の英文を聞き、一斉に読んだり個人で読んだりする活動を取り入れていく。
- ・英語学習意識調査では、英語の学習は大切だが、好きではないと答える児童が多かった。しかし、英語をもっと書きたい、読みたいと答える児童が多かったので、読む活動や書く活動を取り入れながら英語が好き、楽しいと感じられるように授業展開を工夫していく。

## ③学校関係者評価

- ・「アルファベットの大きい文字・小さい文字を書くこと」「教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すこと」など、書くことに関する技能面において肯定的な回答の割合が高い。書くことに対しては自信があるように見受けられるが、話すことに関して肯定的な回答の割合が低い。児童が話すことに対して自信を持ち、力を身に付けていくためにも、授業改善や十分な練習(経験する)時間の確保が必要。簡単な質問をくり返し取り入れ、経験を積ませていってほしい。
- ・「英語の勉強の大切さ」を感じてはいるが、「英語の勉強は好きか」という問いに対して、肯定的な回答の割合が低い。このことから、「英語の勉強が好き」という児童を増やしていくことが大切である。「好き」という気持ちと「大切である」という気持ちを寄せていくことで、より英語の勉強に取り組む意欲や理解が高まる。児童が楽しく学習に取り組める工夫をしていくとよい。
- ・「ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている」について、肯定的な回答がやや低い。英語担当者と学級担任とで、学習内容の共通理解・共通実践を図り、ショートタイムの有効性を実感させていくようにするとよい。